



つながる

R7. 10. 10(金) №.13 立野 健一

10/10 前期終了～10/14後期に向けて～

本日、前期が終了しました。4月8日（1年生は4月9日）にスタートして約100日。あつという間の前期だったのでないでしょうか。体育大会・集団宿泊教室・中体連大会・中間テスト・期末テスト…様々な行事がありました。それ以上に日常生活の中で、悲喜こもごも、いろんな経験をしたのではないでしょうか。

今日は大事な節目の日。1時間目に始業式を行いました。

まずはたくさんの表彰を行いました。体育面だけでなく、文化面でも様々な活躍をしています。その後で私の話。しかし、昨日も中体連駅伝大会選手推戴式で話をしたばかり。いつも同じ先生の話よりも、バラエティに富んだ先生方の話を聞く方が、生徒の心を耕すのでは…と思い、今回からは私が少し話した後に、バトンタッチして別の先生に話をしてもらうことにしました。

○前期の間で良くなかった点3つ

- ・登校時刻が早くなかったこと（執行部や先生方の働きかけのおかげです。）
- ・生徒会執行部を中心に、生徒主体の活動が増えたこと（執行部のおかげ+全校生徒の前向きな姿勢。）
- ・集会の入退場や、集会自体が引き締まってきたこと（執行部のおかげ+全校生徒の意識の変化。）

●大きな課題を3つ

- ・自分からの挨拶、元気のよい挨拶（挨拶はきちんと返すが、自分からがちょっと弱い。）
- ・1分前黙想・忘れ物をしない・学習道具の準備・話の聞き方などの学習規律
(4月はできていたのに、慣れからか、少し気の緩みが感じられる。)
- ・仲間の心や身体をわざと傷つけること（これは繰り返し話しています。何となく、勢いで、では済まされない。嫌がっている仲間は数多くいますよ。）
- ・この大きな課題3つをぜひ、生徒たちの力で改善したい。10月14日から全員のちょっとした意識改革で、学校の雰囲気は一気に変わる。本当にすごい学校に変貌する。そしてその力が、三中生には十分備わっている。
- ・次回のMVSは冬休みに入る前の集会で行う。

私は本気で思っています、三中生にはまだまだ眠っている力がって、何となく集団に流されてしまつて、持っている力をだしきれていないと。本当にもったいないです。

先日、生徒集会が行われましたが、生徒会執行部が前期を振り返ったムービーを作成して、上映してくれました。ここまでは、他にもやっている学校があるかもしれません。しかし、三中はその後で、意見交流会を行いました。557名の全校生徒が一同に集まった体育館で、どんどん拳手をして前期を振り返る三中生。用意された原稿を読むのではなく、その場で思っていることを発表していました。（裏へ）

すごくいい時間が流れていました。

トラブルがない学校が「いい学校」ではありません。トラブルに対して一つ一つ丁寧に対応し、次からどういう行動を行っていくかをきちんと確認していく。そして、そこから学んだことを全体に広げていく、決してトップダウンではなくボトムアップで。そうやって3年間を過ごし、卒業式を迎えた時に、どこに出て行っても恥ずかしくない自立・自律した15歳となって卒業していく。これがわたしは「いい学校」だと思います（もちろん、「命に関わること」「心や身体を傷つけること」などはトップダウンで指導すべきことですが）。三中にはそんな先生方がいて、そうやって自分達で向上していける生徒がいます。

このあと、樺島先生から自分の経験をもとに、素晴らしい話をありました。

- ① 前期の振り返り（個人ではなく、学年・学級・部活動など集団生活について）
- ② 樺島先生が前期の三中生を振り返って感じていること。
 - ・仲間同士の衝突が少し多かったのでは？樺島先生は「縁」を大事にされている。
- ③ どこで、どんなタイミングで、将来の自分と関わるかはわからない。わからないからこそ、今、自分に関わってくれる人を大切にしてほしい。
- ④ そのときの感情のみで動いてしまうのはどうなのだろう？
 - ・そこで「縁」が切れてしまう可能性がある。
 - ・自分がよりよく生きる「未来」が奪われてしまう。⇒「未来とつながれない」
 - ・当然、他人の未来を奪ってしまう可能性もある。⇒「人権侵害」
- ⑤ 後期は自分を見つめなおす、「縁」や「絆」を大切に過ごしてほしい。集団生活なので、トラブルは必ず発生する。ただ、それをどう解決するかは、みんなの言動にかかっている。3年生は卒業へのカウントダウンが始まっている。今のメンバーでいられるのはもうあと半年。

心にしみるいい話でした。「みんなの幸せを追求する」「仲間とつながる」「地域とつながる」「未来とつながる」「日常生活の質の向上」…そして「自立型人間の育成」に向けて、後期から新たなスタートです。

中体連駅伝大会選手推戴式～10/9(木)6校時～



井下先生が7月からの練習の様子を話してくれたあと、男子は江口君、女子は井形さんが力強い決意表明をしてくれました。その後、私から激励の言葉（激励になったかな？）を話したあと、生徒を代表して生徒会長の杉本さんが激励の言葉を述べてくれました。その後に全校生徒からの寄せ書きのプレゼントがありました。最後は、全員で「三中コール」。わずか15分くらいの時間でしたが、とてもいい時間を過ごすことができました。保護者の方も3名、見学に来られていました。

駅伝は「心で走る競技」です。1本の襷に様々な思いを込めて走り、そして次の人にその思いを襷とともに託す。「心と心が繋がる瞬間」です。その思いの強さ・大きさが、次の人の限界の先にある本当の力を引き出すはずです。練習はうそをつかない。人事を尽くして天命を待て！

